

本年度から鳥獣害防止柵の整備に着手するなど、引き続き事業の推進を図ってまいります。

中山間地域等直接支払交付金事業につきましては、平成22年度より第3期目の対策となりですが、対象面積の拡大を図り、遊休農地発生防止や地域農業の維持向上を図るべく取り組んでまいります。

農地・水・環境保全向上対策につきましては、昨年度より幾寅、北落合地区で取り組んでおりますが、今後とも地域の共同活動を通じて農地や用水施設、排水路などの地域資源の保全管理に努めてまいります。

昨年の冷湿害による農業所得の減少対策と致しましては、道が行う冷湿害対策を基本として、制度資金借入者に対する利子補給などの助成制度導入を検討してまいります。

町と農協が協力し、農家所得の安定と生産意欲の向上を図るため実施しております、「農業元気づくり事業」については、引き続き取り組んでまいります。

東鹿越地区においての森林整備事業が予定されております。木質バイオマスエネルギーの公共施設への導入については、木材資源を地域エネルギーとして活用していくことは、素材生産以外の新たな経済的価値を林業に生み出すこととなり、地域雇用や森林経営基盤の強化が図られ、環境面においても持続可能な循環型の森林整備の促進と併せ、地球温暖化における温室効果ガス吸収源による環境保全としての役割と、本町における林業・林産業の振興を図るために、これまで町としても公共施設での導入の検討を進めてきたところであります。

南富良野町森林組合においては、ふらの農業協同組合が整備いたしましたポテトチップス製造施設「シレラ富良野」の一部暖房用熱源として、本施設をはじめ公共施設への良質な木質チップを供給する体制が整ったことから、本年度公共施設への木質チップボイラーの導入に取り組むことにし、繰越事業として建て替えを行う南富良野中学校、またその施設形態からより効果が

は、農業委員会を中心として農用地利用集積計画の策定や農地保有合理化事業の活用を推進し、農地の保全に努めてまいりますとともに、農業の担い手を確保するため、集落営農や農業生産法人などの営農形態について、生産者や農業協同組合と意見交換を進めながら、検討してまいります。

ジャガイモシストセンチュウ対策では、平成21年度も発生は見られませんでした。引き続き蔓延防止に努めるため、対策協議会に対する負担金を予算計上いたしました。

「熊・鹿」捕獲奨励金事業につきましては、平成19年度から平成21年度までの3箇年、個体数を減らすための重点期間として奨励金を増額し実施してまいりましたが、平成22年度からは町負担を従前の額に戻し実施してまいります。

畜産振興については、飲料牛乳の消費量は少子化や他飲料との競合などから減り続け、畜産農家の経営環境は引き続き厳しい状況にあることから、申内牧場に乳肉用牛を預託する費用の一部助成を行い畜産農家の負担軽減を図るための

發揮される、かなやま湖ログホテルラーチについて、国の補助事業としての実施目処がつかしましたので木質チップボイラー設備整備のための所要の事業費を計上したところであります。

次に、商工業の振興であります。

商工業を取り巻く環境は、本町の経済を支える農林業を中心とする産業全般の低迷や過疎化・少子高齢化や消費の多様化、購買力の流出により、依然として厳しい状況が続いており、更には公共事業の減少や新築する個人住宅などの減少で、商工業全体として一段と厳しい環境にあります。

このような状況を踏まえ、商工業の経営安定と振興のため行政予算執行の際には、効率的な予算の執行に留意し、町内の消費向上等を図りながら商工業の振興に努めてまいります。

また、商工会の育成強化については、商工会の財政効率をより一層求める中で、人的

事業を引き続き実施してまいります。

**林業の振興**

次に林業の振興であります。森林は、木材資源であることとはもとより、国土の保全・水源かん養及び自然環境の保全等に加え、地球温暖化防止対策の二酸化炭素吸収源として大きな役割を担い、多種多様な公益的機能が十分發揮でき森づくりに強く求められています。

このため林業振興は重要であり、森林整備促進とともに労働力が確保されるなど、多面的な機能の持続的な發揮が期待され、私たちの生活基盤となる社会資本として、適切な維持管理をしていくことが



シレラ富良野の木質チップボイラー

支援と商工振興事業補助金による支援を継続し、町内消費向上対策についても商工会と連携を図りながら進めてまいります。

商工業者等の資金円滑化を図るため実施している、町融資及び利子・保証料補助事業や創業支援のための商工業振興アシスト事業補助金につきましても所要の予算を計上いたしました。

町内の消費向上対策につきましては、昨年度商工会において町内加盟商店での消費に対する消費者への還元を図る「ポイントカード事業」を新たにスタートさせており、行政といたしましては町内消費と購買促進に大きな効果があると判断し、その導入経費について助成を行なったところ

強く求められております。林業は農業とともに本町の重要な基幹産業であり、森林を整備する中で地域林業生産活動の活性化を推進するとともに、林業労働者の減少や高齢化、担い手対策については、森林整備担い手対策推進事業に引き続き取り組み、森林環境の整備充実と森林資源の有効活用を図りながら森林産業の活性化に努めてまいります。

本年度事業は、町有林の人工林では、間伐事業を中心に作業路新設事業、下刈事業を実施するほか、森林総合研究所分収造林事業並びに特定中山間保全整備事業について引き続き取り組んでまいります。

天然林についても、森林資源の有効活用及び林業労働者の雇用対策として、事業収支に留意しながら択伐事業を推進し、これに伴う所要の事業費を予算に計上いたしました。

民有林の振興については、木材需要の低迷による森林所有者の整備意欲を低下させないためにも、負担軽減を図るための各種補助制度を活用した、除間伐促進事業や造林事業の推進を支援するため、引

であり、この取り組みに対しまして引き続き支援してまいります。

鉱業振興については、鉱業振興会へ引き続き支援するとともに、輸送車両の大型化に配慮した町道の整備を進めてまいります。

また、観光振興については、引き続き富良野美瑛広域観光推進協議会に参加する自治体と共同し、国内外に対して本町の観光資源のPRに取り組むとともに、東アジア圏での北海道ブームや新千歳空港の新国際線ターミナルの拡張、更に新千歳空港利用枠の拡大等により、今後増加が見込まれる、中国を中心とした新千歳空港利用観光客を富良野美瑛圏域に誘致するため、それぞれ関係する機関と連携を図ってまいります。

また、体験観光客の増加と観光産業の育成に努めるとともに、町内各種観光施設の適正管理に留意してまいります。NPO法人南富良野まちづくり観光協会については、さ



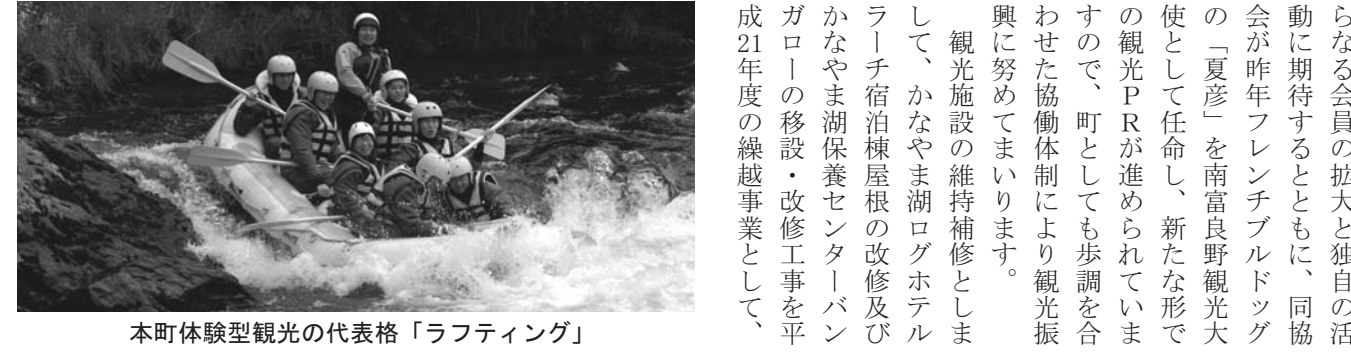
き続き所要の予算を計上いたしました。

林道整備では、融雪などの影響による森林管理道湖畔線法面崩落箇所等の整備及び基幹作業道山畔線開設事業に取り組み、道営による治山事業では、北落合地区の保育・防風林造成事業、落合地区での小規模治山事業と保育事業、幾寅地区、金山地区での保育事業が予定されています。

道有林事業では、東鹿越地区での鹿の沢地区奥地保安林保全緊急対策事業及び施業道維持事業、下金山地区ではアキの沢外1箇所での小規模治山事業、また、下金山地区、

らなる会員の拡大と独自の活動に期待するとともに、同協会が昨年フレンチブルドッグの「夏彦」を南富良野観光大使として任命し、新たな形での観光PRが進められていますので、町としても歩調を合わせた協働体制により観光振興に努めてまいります。

観光施設の維持補修としまして、かなやま湖ログホテルラーチ宿泊棟屋根の改修及びかなやま湖保養センターバンガローの移設・改修工事を平成21年度の繰越事業として、



本町体験型観光の代表格「ラフティング」